



## 学校支援訪問を振り返って①

今回から数回に渡って、第1学期(第1学期前半)の学校支援訪問(重点支援校訪問を含む)を終えての振り返りをさせていただきます。

訪問させていただいた多くの学校で、授業改善のキーワードである「『分かる!・できる!』まで教えよう!!」の実現のために、4つのチェックポイントを意識した授業が展開されていました。以下、全体的に共通する課題について報告いたします。



### 本時の目標の焦点化について

4つのチェックポイントに「指導内容の精選」が示されています。指導内容を精選するためには、本時の目標を焦点化することが大切ですが、学習指導案に本時の目標や評価が2~3つ設定されており、焦点化できていない授業も散見されました。授業者自身が、本時のゴールイメージ(目指す子どもの姿)を明確にして、1単位時間の中で身に付けさせる力を一言で言えることが大切です。

ある学校では、**本時の目標を1つに絞り込み、「目標」「評価」「めあて」「まとめ」の整合性を大切にされた取組**がなされていました。また、**評価規準に観点(読む能力、数学的な考え方等)も明記**されていました。

本時の目標及び評価規準を明確にすることは、指導内容の精選にもつながります。

## 西米良村「教育の情報化」研究公開について

西米良村「教育の情報化」研究公開について、以下のとおりご案内いたします。

【日時】令和元年11月14日(木) 9:30~15:50

【会場】村所小学校、西米良中学校

【内容】公開授業・授業研究会、講演、デジタルトークセッション

※ 全国的にも著名な**東北大学大学院情報科学研究科 教授 堀田龍也氏による講演**も予定されています。

【その他】お問い合わせは、西米良村教育総務課までお願いします。

☎0983-36-1111(代表) mail:kyoiku@vill.nishimera.lg.jp

## 「熱中症対策」について

先週、宮崎県を含む九州南部の梅雨明けが発表されました。梅雨明け後、気温が30度を超す日が続いています。夏休み中ではありますが、学校ではサマースクールの開催、プールの開放、部活動の練習など、児童・生徒が炎天下の中で登下校したり、屋外で活動したりする場面が多くあると思います。熱中症の対策につきましては、引き続き十分な注意喚起及び対策をお願いします。

### 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」から

- 学校管理下の**熱中症による死亡事故の中で最も多いのが、運動部活動によるもの**である。種目では、野球が最も多く、屋外種目ではラグビー、サッカー、屋内種目では柔道、剣道で多く発生している。
- 熱中症は、**梅雨明けなどの気温が急に上昇したときに多く発生**している。また、学校の部活動練習における合宿初日や休み明けに多くみられる。
- ※ 部活動練習では、新入生(1年生)に十分留意する必要がある。

